

# 第7回 東北サイコネフロロジー研究会

日時・会場

2025年 2月 23日(日) 13:00

ハイブリッド開催

TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口 5階  
カンファレンスルーム 5D

【Closing Remarks】 15:10 - 15:30

演者 東北大学大学院医学系研究科 腎臓内科学分野

准教授・血液浄化療法部部長 宮崎 真理子

演題「精神医療と腎臓内科・透析医療の連携への期待」

第7回  
東北サイコネフロジー研究会  
COI 開示

東北大学 宮崎 真理子

交通費  
講演料

キッセイ薬品株式会社

## 「東北サイコネフロロジー研究会」趣意書

— 透析従事者と精神科医との相互理解による透析患者のQOL向上のために —

### 【現状分析】

#### 透析医療従事者

- ★ 透析患者の高齢化により認知症が増加
- ★ 処遇困難・非導入・中止への対処法は？
- ★ 精神科専門医に紹介したくてもツテがない

#### 精神科医

- ★ 透析自体どのような治療か知らない
- 腎不全・透析患者の治療経験が乏しい
- 透析施設と連携する機会が少ない

#### 透析患者・家族

こころの問題があっても、本人も家族も気づかない  
こころの問題をどこに相談したらよいかわからない  
精神科医にかかっても適切な治療がなされない

### 【問題点と課題】

東北地方では腎不全患者や家族の精神・心理・社会的問題への介入が不十分である。透析患者が適切な精神科診療を受けるために、透析施設における精神医学的知識の底上げと、精神科医との相互理解や「共通言語」が必要である。

★ 私見；進展している



# 東北腎不全研究会 サイコネフロロジーWG

2023年、東北腎不全研究会活動  
の全般的な見直しがあった

前回【Closing Remarks】

医療法人社団清永会 矢吹病院 院長 政金生人 先生  
「今後の東北サイコネフロロジー研究会の展望について」

## 東北腎不全研究会サイコネフロ ロジーWGが発足

2024年9月7日～8日に第50回東北腎不全研  
究会で、右記のシンポジウムを開催した。

### 第50回 東北腎不全研究会学術集会

日時

2024年 9月 7日 (土)  
16時50分～18時20分

会場

秋田市にぎわい交流館AU 第3会場

共催シンポジウム3

セッションテーマ

サイコネフロロジー入門～東北腎不全研究会 サイコネフロロジーWGから～

座長

医療法人美之会 青空クリニック 院長 大内 雄太 先生  
岩手医科大学附属病院 血液浄化療法部 金子 真理子 先生

演者

医療法人社団清永会 矢吹病院 院長 政金 生人 先生

「サイコネフロロジーの歴史(仮)」

医療法人美之会 青空クリニック 藤倉 恵美 先生

「サイコネフロロジーはなにを求められているのか?～医療従事者の疑問を探る(仮)」

医療法人美之会 青空クリニック 院長 大内 雄太 先生

「透析患者の睡眠障害・総論(仮)」

医療法人社団清永会 矢吹病院 看護部 押切 悠紀 先生

「透析患者の睡眠障害・各論(仮)」

医療法人援腎会 すずきクリニック 院長 鈴木 一裕 先生

「第35回日本サイコネフロロジー学会学術集会総括(仮)」

お名前、所属、連絡先など取得した個人情報は、個人情報保護法及び当社社内規定に従い適正に管理します。また、取得した個人情報、本講演会の運営、医療・医薬品情報の提供、講演会等の案内の目的その他当社が公表している利用目的以外には使用せず、法令で定められた場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

個人情報保護に関する取り組み <https://www.kassei.co.jp/policy/>

責任者: キッセイ薬品工業株式会社 キッセイ薬品工業株式会社 東北支店仙台営業所 所長 江端 淳 TEL: 022-272-9791

共催: 第50回東北腎不全研究会学術集会 / キッセイ薬品工業株式会社

# サイコネフロロジーにおけるXXXの役割は何ですか？

サイコネフロロジーにおける腎臓医の役割は、患者の腎機能を管理し、心理的健康との関連を考慮することです。具体的には以下のような役割があります：

- 1.腎機能の評価と管理:** 患者の腎機能を定期的に評価し、適切な治療を提供します。
- 2.心理的健康のサポート:** 患者が感じる不安やストレスを理解し、必要に応じて精神科医やカウンセラーと連携してサポートします。
- 3.治療計画の調整:** 患者の心理的状态を考慮して、治療計画を調整し、患者が最も適した治療を受けられるようにします。
- 4.教育と情報提供:** 患者とその家族に対して、腎病の管理方法や心理的健康の重要性について教育し、情報を提供します。  
このように、腎臓医は患者の身体的健康だけでなく、心理的健康も考慮した総合的な治療を提供することが求められます。

精神科医の役割は、腎臓病患者が直面する心理的問題を理解し、対処することです。彼らは以下のような役割を果たします：

- 1.心理的サポート:** 腎臓病の診断や治療に伴うストレスや不安、抑うつ症状を軽減するためのカウンセリングを提供します。
  - 2.メンタルヘルス評価:** 患者の精神的健康状態を評価し、必要に応じて適切な治療を提案します。
  - 3.治療計画の作成:** 患者の心理的ニーズに基づいて個別の治療計画を作成し、実施します。
  - 4.家族への支援:** 患者の家族もサポートし、患者の治療に協力するよう助言します。
- このように、精神科医は腎臓病患者の心理的健康をサポートし、全体的な治療結果を向上させるために重要な役割を果たしています。

ISSN 2738-7213

2023

日本サイコネフロジー学会雑誌

The Japanese Society for Psychonephrology

Vol.2

一般社団法人日本サイコネフロジー学会 発行



委員会報告

日本サイコネフロジー学会雑誌 2 : 45-56, 2023

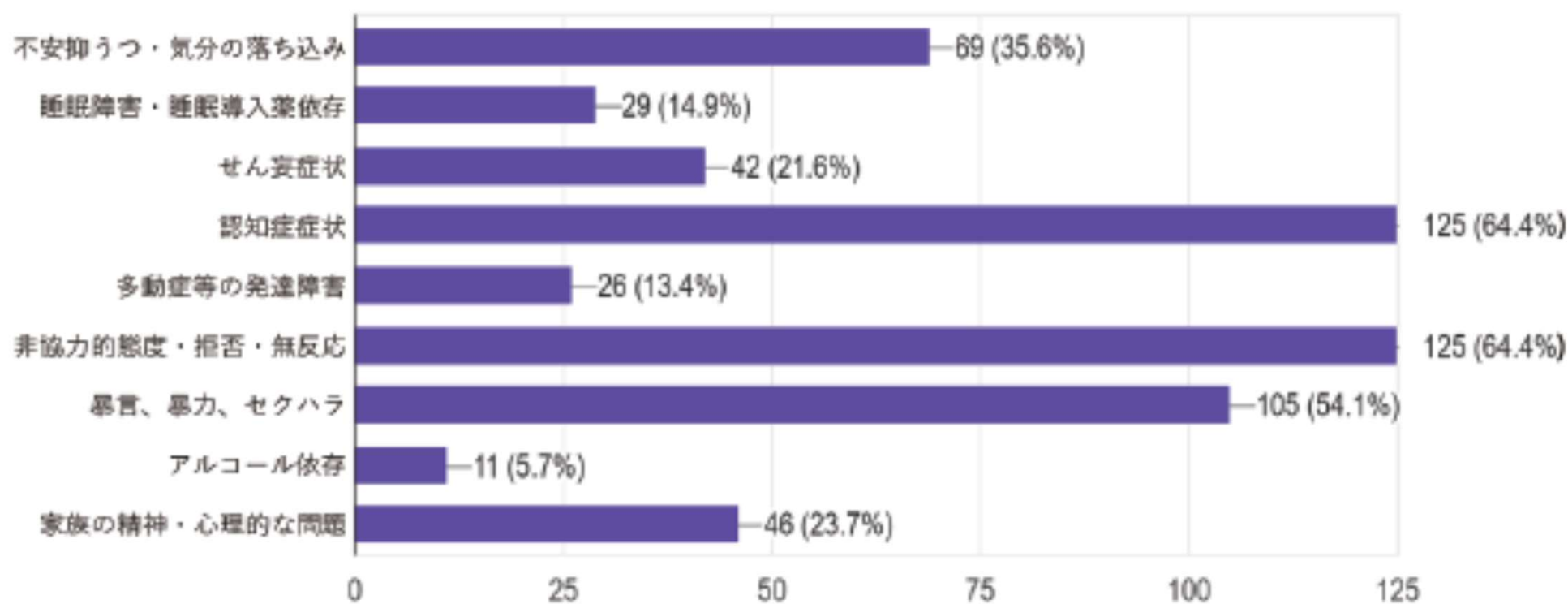
## 日本サイコネフロジー学会 臨床研究推進委員会 アンケート調査結果 ～喫緊の課題と今後のテーマを探る～

政金 生人<sup>1) 2)</sup> 大内 雄太<sup>1) 3)</sup> 大橋 綾子<sup>1) 4)</sup> 中村 菜々子<sup>1) 5)</sup> 星野 純一<sup>1) 6)</sup> 伊藤 孝史<sup>1) 7)</sup>  
志賀 浪 貴文<sup>1) 8)</sup> 高野 公輔<sup>1) 9)</sup> 西村 勝治<sup>10) 11)</sup>

一般社団法人日本サイコネフロジー学会 臨床研究推進委員会<sup>1)</sup>、医療法人社団清水会矢吹病院 腎臓内科<sup>2)</sup>  
医療法人美之会青空クリニック 精神科<sup>3)</sup>、九州大学病院 精神科神経科<sup>4)</sup>、中央大学 文学部心理学専攻<sup>5)</sup>  
東京女子医科大学 腎臓内科<sup>6)</sup>、帝京大学ちば総合医療センター 第三内科（腎臓内科）<sup>7)</sup>  
埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック<sup>8)</sup>、明治学院大学 心理学部心理学科<sup>9)</sup>、東京女子医科大学 神経精神科<sup>10)</sup>  
一般社団法人日本サイコネフロジー学会 理事長<sup>11)</sup>

析

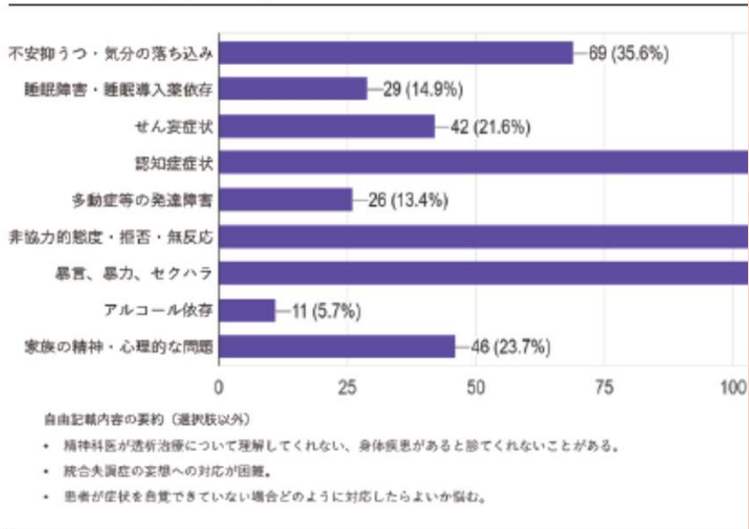
図 5：対応に苦慮する精神・心理症状



自由記述内容の要約（選択肢以外）

- 精神科医が透析治療について理解してくれない、身体疾患があると診てくれないことがある。
- 統合失調症の実態への対応が困難。
- 患者が症状を自覚できていない場合どのように対応したらよいか悩む。

図 5：対応に苦慮する精神・心理症状



認知症症状

非協力的態度・拒否・無反応

暴言・暴力・セクハラ

不安 抑うつ，気分の落ち込み

家族の精神・心理的な問題

せん妄症状

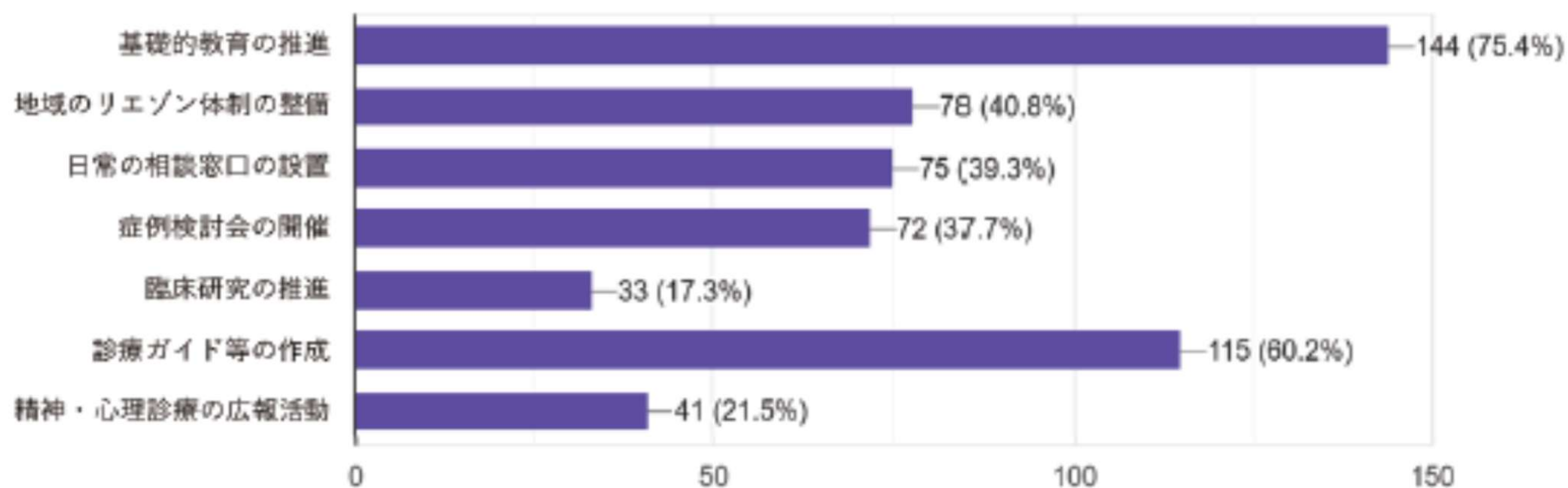
睡眠障害・睡眠導入薬依存

多動症などの発達障害

アルコール依存



図9：サイコネフロロジー学会に期待すること

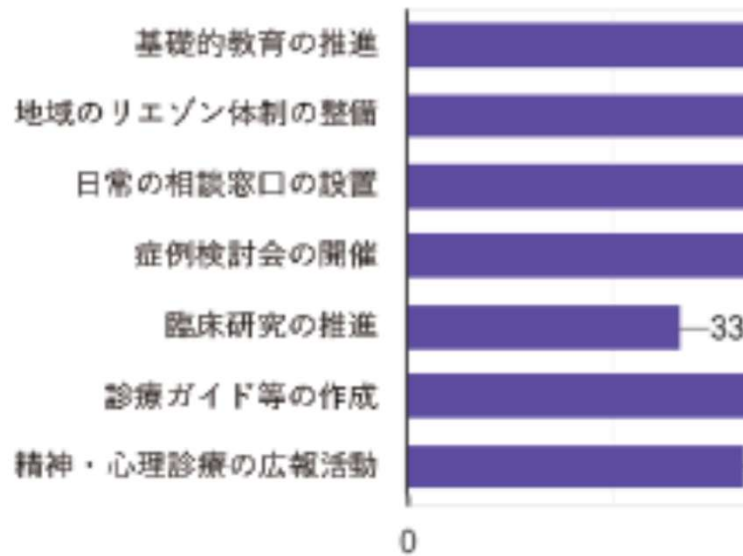


自由記載内容の要約（選択肢以外）

N=195

- 糖尿病関連の学会と連携をとっていただきたい。
- 医療者自身のメンタルヘルスについて、組織、個人がいかに対応するのかについて教育や研究を行ってほしい。
- 日常のストレスを発散できる場所を提供してほしい。

図9：サイコネフロロジー学会に期待すること



自由記載内容の要約 (選択肢以外)

- 糖尿病関連の学会と連携をとっていただきたい。
- 医療者自身のメンタルヘルスについて、組織、個人がい
- 日常のストレスを発散できる場所を提供してほしい。

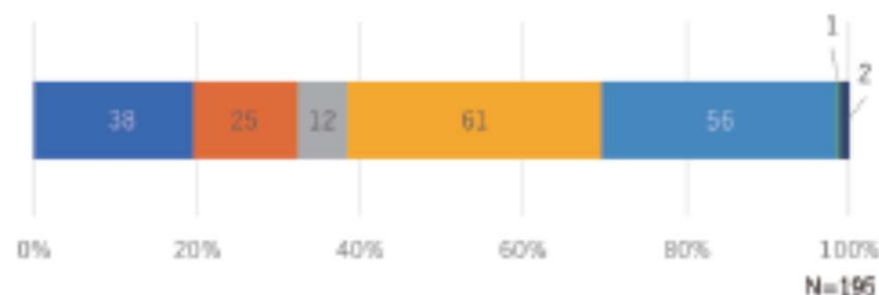
基礎的教育の推進  
診療ガイド等の作成

地域のリエゾン体制の整備  
日常の相談窓口の設置  
症例検討会の開催

精神・心理診療の広域活動  
臨床研究の推進

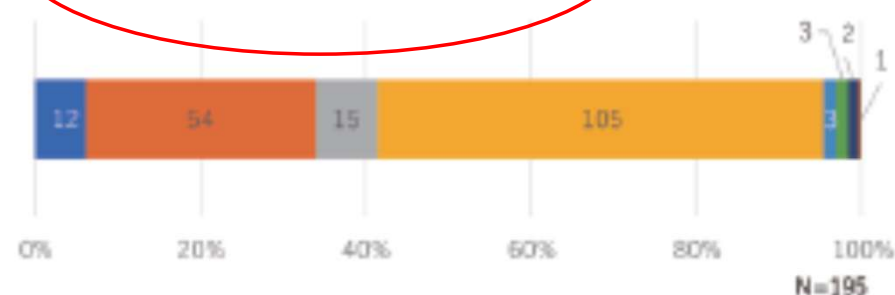
図6：精神・心理リエゾン体制の状況と初期対応

a. 院内の精神・心理リエゾンチーム（共同診療体制）について



- 院内にリエゾン体制が構築されている。
- 精神科リエゾンチームはないが、精神科関連の院内他科受診のしくみがある。
- 院内に精神・心理の専門家はいないが、外部に相談できる施設がある。
- 必要に応じて院外の精神科に紹介する。
- 適切な診療態勢がない。
- その他（自身が専門家であるが、チームはない。）
- 未回答

b. メンタルヘルス問題の初期対応担当者



- リエゾンチーム担当者
- 医師（腎臓病・透析関連）
- 医師（精神科・心療内科関連）
- 看護師
- 公認心理師/臨床心理士
- （医療）ソーシャルワーカー
- その他（サイコネフロジーナース（院内認定）、所属員）
- 未回答

サイコロジカル・ファーストエイド (Psychological First Aid: PFA)  
行動原則「見る・聴く・つなぐ」



日光東照宮の三猿のストーリー②二面目（幼少期）：子供から悪い物を遠ざける

<https://tabihiro.jp/kankou/article/nikko-toshogu-sanzaru/>



サイコロジカル・ファーストエイド (Psychological First Aid: PFA)  
行動原則「見る・聴く・つなぐ」



日光東照宮の三猿のストーリー⑤五面目（挫折と慰め）

<https://tabihiro.jp/kankou/article/nikko-toshogu-sanzaru/>



1975年 第二回  
東北腎不全研究会 於 新潟市



関野慎先生提供

2060年頃  
東北地方でサイコネフロロジーはどう発展している？



【テーマと主なポイント】

## 「透析従事者と精神科医との相互理解による透析患者の QOL 向上の実現」

—医療者よし、患者よし、世間よしの「三方よし」を目指して—



- ・東北地方において年1回以上、学術研究会を行います。→ 透析従事者への啓蒙活動。精神科医の透析医療への理解の深化。
- ・研究会で症例検討を行い、透析医・精神科医等から適切なアドバイスを直接受けられます。→ 透析医療従事者の相談の場。
- ・会員同士でメーリングリスト(ML)を作成します。→ 透析従事者と精神科医の連携の場。研究会の告知等の負担軽減目的。

課題解決を目指して東北地区の精神科医、心理士などの専門家のみなさまが加わっていただけることを期待しています。

テクノロジーの進化によっても感情を持つ人々の心理的健康のためには、対話、交流が必須かと思えます。

<https://tpns.jp/prospectus.html>